

つかさ会 会報

Vol.72
2012.4月発行
つかさ会事務局

つかさ会会員の皆様、こんにちは。今月号では、いろいろな案内を同封しなくてはならず、発送が遅くなりました。すみませんでした。

さて、新年度が始まりましたね。しかし学校の入学式の時期なのに今年は桜が遅いようです。春一番というより突風が吹いたり、天候も良くない日が続いたりしています。なんか春らしくない…。こう気温が上下すると疲れやすかったりもします。インフルエンザB型がちらほら出ています。体調管理にも御注意くださいね。

まずは、先月18日には岐阜県支部の代表者会に、つかさ会より役員3名が出席しました。会議では、私たちの所属する「日本糖尿病協会」が公益社団法人に移行する進捗状況の報告、それに合わせて「岐阜県支部」が「岐阜県糖尿病協会」に名称が変わり、会則なども改訂される旨説明がありました。詳細は6月10日の総会に御出席いただけるとよく判るかと思えます。

次に、我々のつかさ会の総会は、5月13日です。詳細は同封の案内を参照していただき是非にも「出欠席の葉書」でご返事ください。もちろん総会後には、(たぶん役に立つ)講演がありますよ。現在スタッフで準備を進めているところです。沢山の方が来て頂けるととても嬉しいです。

今月号の『さかえ』では、特別企画“ヘモグロビンA1cの基礎から(P28)”を読んでみましょう。皆さんが毎月医療機関を受診される際に成績表のように主治医より言い渡される「HbA1c」、あまり良いイメージを持たれていない方もおられるでしょう。さてその「HbA1c」とは何ぞやといったところの復習(いつぞやの糖尿病教室で聞いたかもしれませんが)と、4月より基準値が変わったことは覚えておいて損はないようですね。

“糖尿病うそ!?!ほんと!?(P58)”も読んでみてください。「現代のインスリン注射は驚くほどに痛くない!」これは真実です。僕も何度もやってみましたが痛くない。でも「50回に1回ぐらいいは痛い!」これも事実のようですね。チクツとしたら指し直すのが秘訣のようです。毎年何人かの方が50年間以上インスリンを打ちながら元気に生活されていることに対して表彰されています。“インスリン生活50年(P7)”を読まれてわかるように、半世紀前には大変な苦勞があったようです。

“読者のひろば(P52)”は、毎月楽しく読んでいます。このところ岐阜県からの投稿が少ないようです。匿名で構わないので、会員の皆様も徒然なる日々の出来事でも送られては如何でしょうか。きっと誰かが共感したり参考にしたりするはずですよ。

“1型と目には…(P51)”での「1型糖尿病」の病名を、例えば「BCD」に変更する提案、僕は賛成です。まさに本文の通りで、1型の方は、メジャーである2型糖尿病のラベルにより誤解されていると思います。ひと昔前は医師・看護師ですら誤解しているところがありました。誤解を生じないような病名への変更を希望します。